

図書館だより（千葉点字図書館）
2026年(令和8年)1月号(通巻第474号)

編集・発行 社会福祉法人 千葉県視覚障害者福祉協会
視覚障害者総合支援センターちば
千葉点字図書館
〒284-0005 千葉県四街道市四街道1丁目9番3号
電話：043-424-2588
E-Mail(貸出)：kasidasi@tisikyo.jp

目 次

1. 新年の挨拶

2. お知らせ

- ・センター休館日について
- ・SDカードダウンロードサービスのご案内
- ・購入雑誌のご案内
- ・自館製作雑誌のご案内
- ・他館製作雑誌貸出のご案内
- ・寄贈資料のご案内

3. 新入図書の紹介

4. おすすめ図書の紹介

5. 墨字図書出版情報(週間ベストセラー(文庫) 日販調べ 2025.12.9)

*記事の内容については、著作権の関係で割愛しています。

6. ニュース・新聞記事から

- ・演劇鑑賞 障害の壁なくす(朝日新聞 2025.6.1)
- ・「スマホ斜視」の若年増加(千葉日報 2025.8.9)
- ・障害者に活躍の場(千葉日報 2025.4.30)
- ・映画の楽しさ 誰もが一緒に(朝日新聞 2025.5.29)

*記事の内容については、著作権の関係で割愛しています。

1. 新年の挨拶

新年明けましておめでとうございます。旧年中は、図書館をご利用いただきありがとうございました。本年も皆様に親しまれ、気持ちよくご利用いただけるような図書館を目指し、本との出会いの場となれるよう努めてまいります。

2026年もどうぞよろしくお願ひいたします。

2. お知らせ

センター休館日

1月の休館日は次のとおりです。

9日（金） 図書整理日（貸出の対応を終日休止）

16日（金） 職員会議のため13時30分以降休館

SDカードダウンロードサービスのご案内

当センターでは、SDカードにお好きな音声データをダウンロードするサービスを行っています。ご希望の方は、当館宛にSDカードを郵送し、メールまたは電話にてご希望の図書をご連絡ください。SDカードの容量とは関係なく1枚につき5タイトルまでのダウンロードとなりますのでご了承ください。

●利用対象：SDカードで再生する機器、またはパソコンをお持ちの方。

●貸出方法：SDカードダウンロードサービスをご希望の方は、来館・電話・メール・手紙のいずれかでお申込みください。

●連絡先：電話043-424-2588 メール：kasidasi@tisikyo.jp

何かご不明な点がありましたら、貸出担当までお問い合わせください。

購入雑誌のご案内

現在当館では、次の点字、デイジー雑誌を購入しています。

点字

- ・鍼灸の世界 年12回発行 東洋医学、西洋医学、ニューメディアなどに関連する記事を掲載。
- ・旅 年6回発行 京都ライトハウス製作の旅の魅力を伝える情報やエッセイを掲載。
- ・テルミ 年6回発行 視覚に障害のある子どもたちを対象にした学習絵本。墨字併記。
- ・点字ジャーナル 年12回発行 理療や福祉の情報の他、スポーツ、旅、グルメ等趣味の話題も掲載。

デイジー

- ・視覚障害 年12回発行 視覚障害に関するテーマ全般。当事者等による特集記事、対談等を掲載。
- ・点字毎日 年25回発行 視覚障がいに関するニュースを取り扱っている。
- ・ライト&ライフ 年12回発行 身近な生活情報を提供。

自館製作雑誌のご案内

当館では、月刊で発行されている「ナショナルジオグラフィック日本版」を点字で、隔月刊で発行されている「小説宝石」を音声デイジーで製作しています。

「ナショナルジオグラフィック日本版」は貸出、「小説宝石」は貸出ではなく差し上げています。

他館製作雑誌貸出のご案内

現在貸出している雑誌（音声デイジー）

週刊：アエラ、サンデー毎日、週刊現代、週刊新潮、週刊文春、週刊ポスト、女性自身、ニュースウィーク、
フライデー

隔週刊：オレンジページ

月刊：アイサポートニュース、朝日新聞医学情報、朝日新聞天声人語、栄養と料理、NHK きょうの健康、
NHK きょうの料理、NHK 俳句、オール読物、音楽の友、月刊ジャイアンツ、月刊情報誌「読書」、
声の食生活情報、さかえ、趣味の園芸、小説新潮、小説すばる、ステレオ、世界、
全国点字図書館新刊デイジー図書目録、選択、ダンスビュウ、鉄道ピクトリアル、鉄道ファン、
東洋経済、トランヴェール、日経サイエンス、日経マネー、ニュートン、ハルメク、PHP、婦人公論、
ベースボールマガジン、旅行読売、歴史街道

隔月刊：暮らしの手帖、厚生、フクミミ、理療

寄贈資料のご案内

●次の資料が寄贈されました。

- ・ 全国盲ろう者協会 発行 『コミュニケーション』 点字1冊
- ・ 東京都盲人福祉 発行 『点字東京』 (344号) 1冊
- ・ 日本視覚障害者団体連合女性協議会 発行 『あかね』 (122号) 点字1冊
- ・ 日本視覚障害者団体連合 発行 『点字日本』 (648号) 1冊
- ・ 日本点字図書館 発行 『にってんデイジーマガジン』 (12月号) デイジー1枚
収録内容：ブックウェーブ（視覚障害者や本に関する話題）、文藝春秋、ホームライフ（料理・育児・新製品などの実用記事や、暮らしの情報・話題）、医学研究（健康に役立つ情報、三療に関する記事および大学病院等所属の講師陣による臨床講座を掲載）他。

●次の資料は差し上げます。ただし部数に限りがあります。

- ・ 内閣府政府広報室 発行
『ふれあいらしんばん』 (106号) 点字1冊
『明日への声』 (106号) 音声CD1枚
- ・ 日本視覚障害者団体連合 発行 『点字 厚生』 1冊

雑誌についてのお問い合わせや貸出を希望される方は貸出担当（TEL：043-424-2588）までお申し込みください。

3. 新入図書の紹介

(点字図書)

[番号、書名、著者名、冊数、原本出版者、出版年、解説の順に読みあげます。]

<一般書>

- ① 10年後、僕たち日本は生き残れるか——未来をひらく「13歳からの国際情勢」 (石田 和靖 著)
3冊 KADOKAWA 2024年7月
[なぜパレスチナがいつも攻められるのか? アメリカの経済制裁でロシアは強くなった? 今後の中心を担う第三世界とは? いま世界では何が起きているのか、そして日本と日本人が取るべき態度について分かりやすく解説する。]
- ② 全国盲学校弁論大会全国大会弁論集 第92回 2024(令和6)年度 (毎日新聞社点字毎日部 編)
1冊 每日新聞社点字毎日部 2025年9月
[2024(令和6)年10月4日(金)、水戸市で開催された全国盲学校弁論大会の弁論集。活字併記。]
- ③ 手取り20万円子育て家族の貯金の教科書 (横山 光昭, 朝倉 真弓 著) 2冊 きこ書房
2018年4月
[限られたお金をうまく貯め、うまく使えば、十分な教育を子どもに受けさせ、賢く強い大人に育てることはどんな家庭でもできる。手取り月収が20万の家庭の相談に応じる形で、お金と正しく付き合う方法を解説する。]
- ④ 季節が好きなわたしとマダム (にいざか にいこ 著) 1冊 KADOKAWA 2025年4月
[キコとマダム・セツコは、ひよんなことで出会い意気投合。季節のうつろいを感じられる、小さな楽しみを集め…。薬味たっぷりおにぎり、蒸し春巻き、赤紫蘇ジュースなど、四季折々のおいしいレシピ付き。]

<文学書>

- ⑤ 破夏 (新庄 耕 著) 4冊 小学館 2025年2月
[いじめをきっかけに不登校となっていた中学生の進は、親の勧めで夏の2ヶ月を沖縄の離島で過ごすことになった。美しい海の前に建つ豪奢な家で、つかの間心を癒す進だったが、日々課される「修練」の過酷さは徐々にエスカレートしていく。]
- ⑥ 悪魔のコーラス (モモコグミ カンパニー 著) 4冊 河出書房新社 2023年7月
[由緒あるミッション系中学へ転校してきた透花は、母との葛藤を抱えながら、合唱部の異様な活動に呑み込まれていくが—]

⑦ ご利益ごはん (柳月 美智子 著) 4冊 KADOKAWA 2025年2月

[3人の子を育てる早智子は48歳。何度も起こしても起きない息子、我関せずな夫、失礼なお客。イライラが募る日々のストレスは、お参りして発散！美味しいものでパワーチャージ！リアルなアラフィフライフ！]

⑧ 人生は冥土までの暇つぶし (島地 勝彦 著) 4冊 日刊現代 2024年11月

[伝説の名編集長にして、エッセイスト&バーマンの島地勝彦が、その道を極めた快人物たちの奥深き名言・至言を紹介。]

⑨ 夜に心を奪われて 上 (ノーラ・ロバーツ 著, 古賀 紅美 訳) 5冊 扶桑社 2022年8月

[貧しい家庭に育ったハリーは、母を支えるため、9歳から盗みをはじめた。母の死後、金持ちを標的にした盗みの仕事を続けていたが、ノースカロライナに移住し大学へ入学。見事な赤毛と明晰な頭脳を持つミランダに一目惚れし…。]

<児童書>

⑩ 中学生から知りたいパレスチナのこと (岡 真理, 小山 哲, 藤原 辰史 著) 3冊
ミシマ社 2024年7月

[パレスチナ問題を世界史の中で自分たちの問題として考え直すための入門書。]

⑪ 鬼切の子 2 異界に隠された少女 (三國 月々子 著) 2冊 朝日新聞出版 2023年10月
[大悟と異界の少年ウタキが、最強の鬼に立ち向かう。]

⑫ 妖怪コンビニ 4 妖怪クリスマス・パーティー 上 (令丈 ヒロ子 著) 2冊 あすなろ書房
2024年3月

[人外専門のお店「ツキヨコンビニ」にライバル店が出現！「スターX」に対抗すべく、アサギはクリスマス・イベントを企画しますが、イベントの最中、急に地鳴りのような音がして。]

⑬ 妖怪コンビニ 5 妖怪クリスマス・パーティー 下 (令丈 ヒロ子 著) 2冊 あすなろ書房
2024年11月

[ライバル店「スターX」がツキヨコンビニに悪だくみを仕掛けてきた。ツキヨコンビニの面々は危険をかえりみず、スターXで開催されるクリスマス・パーティーに潜入することに。]

(音声ディジー図書)

[番号、書名、著者名、時間、原本出版者、出版年、解説の順に読みあげます。]

<一般書>

- ① アメリカ大統領と大統領図書館 (豊田 恭子 著) (9:34) 筑摩書房 2024年7月
[アメリカ大統領の任期中の記録を収蔵する大統領図書館。全米各地に現存する全13館を訪ね、それぞれの大統領たちの知られざる横顔とともに紹介する。]
- ② ふくらむ読書 (岡崎 武志 著) (7:25) 春陽堂書店 2024年5月
[一冊一冊の本に隠されている小さな発見と大きな宇宙を、古書ライターの著者が綴る。]
- ③ 人生がうまくいく笑顔の教科書——科学が証明する笑顔のパワー (佐藤 綾子 著) (3:28)
ごきげんビジネス出版 2023年12月
[「笑う門には福来たる」と昔からいうように、笑顔には幸運を引き寄せるパワーがあります。これ1冊で笑顔のことが全部わかる「笑顔の教科書」。]
- ④ 臨済録 (臨済 義玄 著, 入矢 義高 訳注) (10:51) 岩波書店 1991年1月
[臨済の言行を弟子慧然が記した『臨済録』は、「無事の人」に到達しようとする臨済のきびしい自己格闘の跡をまざまざと描き、語録中の王といわれている。長年にわたって、本書を愛読した訳者による待望の書。]
- ⑤ 柳田國男 (菅野 覚明 著) (15:23) 清水書院 2023年9月
[日本民俗学の創始者として知られる柳田國男。広大で奥の深い彼の思想世界は、どのような体系性を持つのか。柳田学の全貌を描いた評伝。]
- ⑥ アメリゴ=ヴェスپッチ (篠原 愛人 著) (10:59) 清水書院 2016年4月
[15世紀フィレンツェに生まれ、初代のスペイン主席航海士となったアメリゴ=ヴェスپッチ。謎に満ちたその実像に迫る。]
- ⑦ 漢の武帝 (永田 英正 著) (10:59) 清水書院 2015年9月
[漢の武帝は、中央集権体制を名実ともに確立するなど、古代中国において多くの足跡を残した。その業績をたどりながら、彼の思想とその根源を探る。]
- ⑧ グロティウス (柳原 正治 著) (8:55) 清水書院 2014年9月
[「国際法の父」と称されるグロティウス。戦争発生の防止、戦争の連鎖の切断のための法的枠組みを作るという課題に取り組んだ彼の生涯と業績を紹介する。]

⑨ 難民・移民のわたしたち——これからの「共生」ガイド (雨宮 処凜 著) (6:11) 河出書房新社
2024年8月

[難民・移民を知るための超入門書。彼らが日本にいる理由や、彼らの生活、その子どもたちが困っていること、日本の難民・移民政策などを紹介する。]

⑩ 薬に頼らずパーキンソン病を改善する方法 (小川 清貴 著) (4:45) アチーブメント出版
2023年9月

[パーキンソン病は不治の病ではなく、究極の運動不足病。正しい理論に則った対策を取ることで改善可能である。脳科学者が延べ1万件以上の改善事例をもとに、激しい動きが不要の、1日3分からできる最新のメソッドを紹介する。]

⑪ ぼくは地球を守りたい——二酸化炭素の研究所、始めました (村木 風海 著) (2:42) 岩崎書店
2023年7月

[小学生の頃から二酸化炭素の研究を独自に続け研究所を設立した化学者が、地球を守り火星に行く夢の原動力となった子どもの頃の経験や、これからやりたいことなどを伝える。]

<文学書>

⑫ 梅の実るまで——茅野淳之介幕末日乗 (高瀬 乃一 著) (8:32) 新潮社 2025年1月
[お役目がなく武芸はからつきしの主人公は、攘夷の渦中へと呑み込まれてゆく。近しい人々の非業の死を乗り越えようやく見つけた、次代につながる道とは。]

⑬ うちのレシピ (瀧羽 麻子 著) (6:38) 新潮社 2021年10月
[小さなレストランを営む両親のもとに生まれた真衣。会社を辞めて店に入った啓太。ふたりの結婚は頑固一徹の料理人と仕事命の敏腕ビジネスマンを結びつけた。当然そこには摩擦も…。美味しさという魔法に満ちた6つの物語。]

⑭ ふつつかな悪女ではございますが——雛宮蝶鼠とりかえ伝 1 (中村 颯希 著) (10:47)
—迅社 2021年1月
[誰もが羨む虚弱で美しいひめ玲琳は悪女と呼ばれる嫌われ者のひめ慧月に妬まれ身体を入れ替えられてしまう。慧月になった玲琳は劣悪な環境にもめげず、前向きに乗り越えていく。玲琳は隣り合わせの死とずっと戦ってきた鋼メンタルの持ち主で—。]

4. おすすめ図書の紹介

『平場の月』 朝倉 かすみ 著 光文社 2021年

第32回山本周五郎賞受賞。大人のリアルな恋愛小説。

物語は、「須藤は亡くなっていた」というところからスタートするので、ネタバレを知りつつ彼女がなくなるまでの回想を追う読み物です。

内容は、人生半ば、元同級生の青砥健将と須藤葉子がお互いバツイチ同士で再会します。

お互い離婚後、地元に戻り健康診断の場所で再会し交際らしき関係となります。途中、会うことやめ1年後に会う約束をしながらも病気で須藤はなくなります。

「平場」とは、何気ないという意味で使われていますが、年を取ると若いころには絶対に幸せだと感じなかつたものが貴くなります。それだけ残された時間が少ないからなのか、当たり前のことほど愛おしく大切にしたくなります。

途中、苦しくなる場面が何度もありますが、「今生きている事の大切さ」を考えさせられるお話しでした。

のぞみ：大矢

『ハリー・ポッターとアズカバンの囚人』

J・K・ローリング 著 静山社 2001年

ホグワーツ魔法魔術学校の3年生になったハリー。ハリーの両親をヴォルデモートに売った犯罪者「シリウス・ブラック」が監獄所から脱走し、ハリーを殺そうとしていると魔法界は大騒ぎ。

しかしハリーの名付け親であり、裏切り者はハリーの父達の友人であるピーター・ペティグリューで、ハリーの友達ロンのペットであるネズミに化けていたという話の展開。

また、ハリーの親友、ロンとハーマイオニーは友達から一步進み恋愛感情が芽生え始めており、映画ではハリー、ロン、ハーマイオニーの役者も成長をとげ、大人の雰囲気へと変わり始めた作品となっております。

のぞみ：深澤